

## 「諦めない。」

スイッチON!! あっという間に新年度。4月は心がフッレッシュになる! 入学式、入社式と人生のワクワクを体感し見れるから。心あらたに彼ら彼女らの先輩として魅せる背中で顔晴ろう!!

さて、  
介護保険で求めることは国の基準で決まっていますが、それをそのまま解釈するとなんだか味気ない。。。  
僕が介護業界で時間という命を使っている「使命」はなにか。ワクワクして燃えているのはなにかを伝えましょう。

介護保険の国の条文を解釈してサービスにしたら老いを愛するというより、国民の税金使ってしまうとすみません。。。と思ってしまうかもしれません。  
だからこそ、ラブエイジングで老いを愛し、人生を楽しむ。そして、いつか僕たちも通る道と思えば、当事者として主人公として、介護業界のインフラ整備に時間を使うことができる。

では、介護保険での期待はなにか。介護保険費や医療保険費を抑制するために自立支援をしていこうという支払う側の視点では、いつか通る道の主人公である僕たちはまたまた申し訳なくなってしまう。。。  
期待に答えるため、僕たちの道、現在の利用者さまにはどんな視点で介護サービスを提供するかといえば、残された時間を遣うのではなく、好奇心に満ちた人生の豊かさを失わないよにしていって刺激として、僕たちは存在しないといけない。そこに自立支援があり介護保険を使うことで、社会に貢献していく。  
そのセンスが、介護事業者や従事者に求められることだと思ふ。頭でっかちになる必要はない。

では具体的に僕が磨いてほしいセンスは、  
自分に置き換えて生きる喜びを提供することで見出だせると思う。「何が楽しみで生きているのか？」  
それを自然に表現でき、日々センスを磨くと明日の先をつくることができる。

僕が、諦めたくないのは3つ。

旅行や外出を諦めない。  
食べる喜びを諦めない。  
社会との接点を諦めない。

自立支援を通じて体の可動域を広げたり、体力が落ちないようにする理由は何なのか？  
三食食べる目的は何なのか？ 自分に関心のある人達が減ってしまう恐怖は？

「旅行、食事、縁」これが人生のエンターテイメントのメインでもある。  
求める数、必要とされる数が減らないように繋がりを作ること。

自らに質問すれば目の前のサービスに景色に鮮やかな色がつく!  
諦めない介護、諦めない集団として、僕は今をつくり明日の先をつくるんです。

